

歯科技工所ベースアップ支援料に関するアンケート結果

1. 概要

【実施期間】 2026年4月27日にアンケートを送付し、5月7日までを回答期間とした。

【送付先】 東京都内の各区市町村のHP上に公表されている歯科技工所および、東京都内の各区市町村にて開示請求手続き等により開示された歯科技工所より無作為に抽出した歯科技工所

【送付件数】 200件（うち10件が不達のため、送付が確認できたのは190件）

【返信数】 34件／190件

【回収率】 17.9%

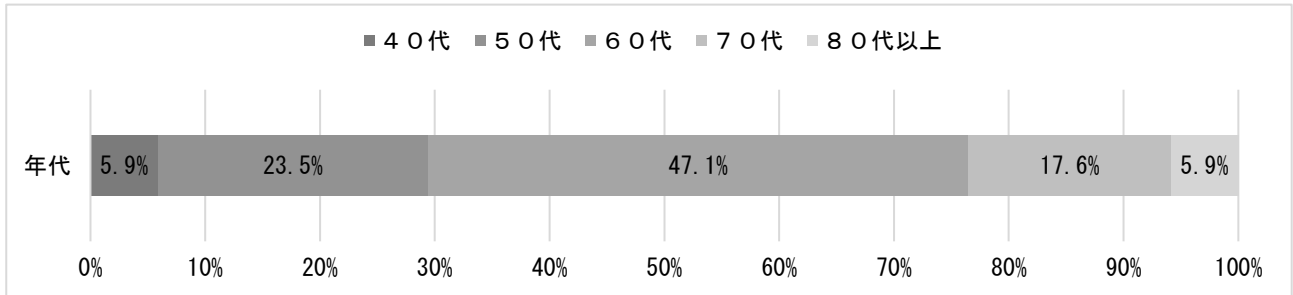
【送付および回収方法】 封書で送付し、FAXまたはGoogleフォームによる回答

2. 結果

回収区分 FAX16件、Googleフォーム18件 計34件

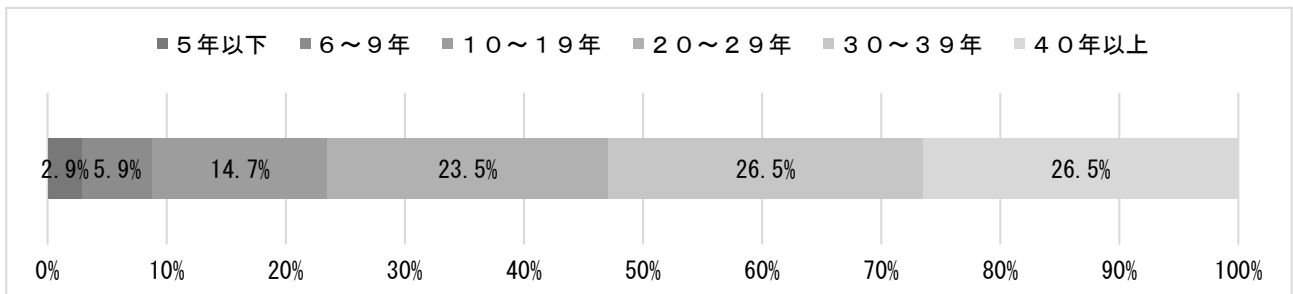
1. 開設者の年代

20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	合計
0	0	2	8	16	6	2	34



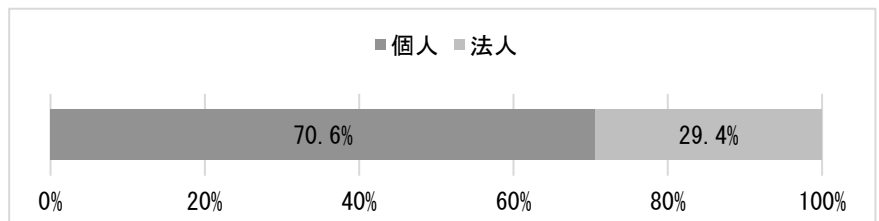
2. 開業年数

5年以下	6～9年	10～19年	20～29年	30～39年	40年以上	合計
1	2	5	8	9	9	34



3. 開業形態

個人	法人	合計
24	10	34

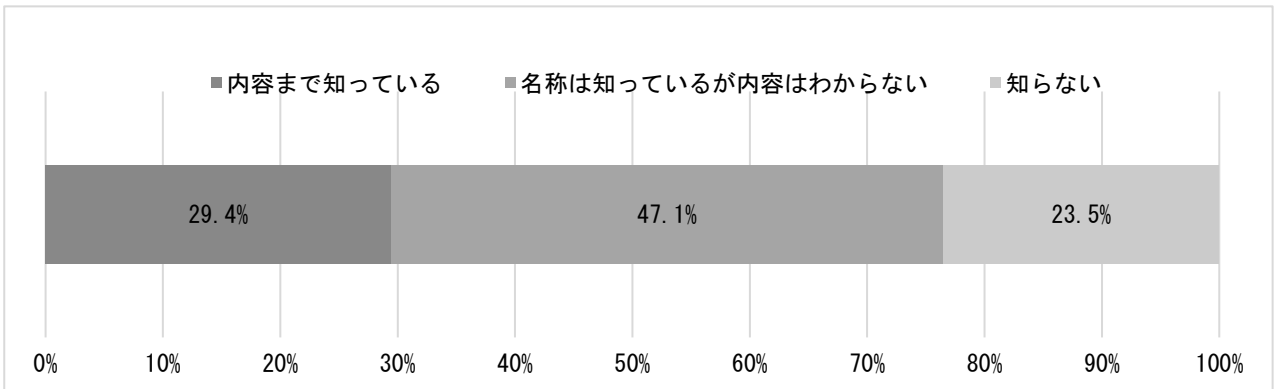


4. 事業所の規模（一事業所あたり、非正規職員も含む）

技工士数	事務職員数						総計
	0	1	2	5	8	19	
1	13	8					21
2	4	1	1				6
4		1					1
5		1		1			2
8		1					1
10	1						1
17						1	1
80					1		1
総計	18	12	1	1	1	1	34

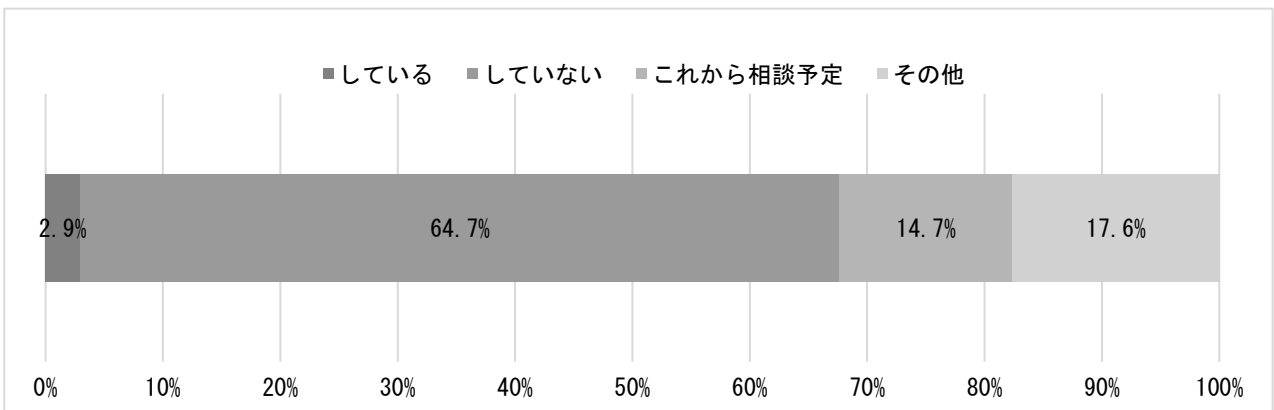
5. 2026年度歯科診療報酬で歯科技工所ベースアップ支援料が新設されたことはご存じですか。

内容まで知っている	名称は知っているが内容はわからない	知らない	合計
10	16	8	34



6. 歯科技工所ベースアップ支援料の算定について契約先医療機関と相談されていますか。

している	していない	これから相談予定	その他	合計
1	22	5	6	34

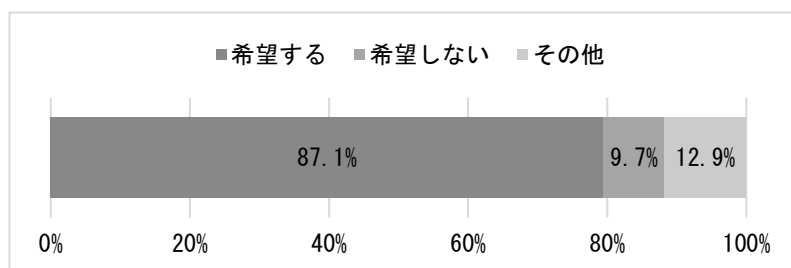


<その他記述>

- ・1か所の歯科医院が教えてくれた
- ・Zoomでの講習は受けました。
- ・これを相談しても医療法人などの歯科医院の理事長が取り合う事に賛否があります。結局のところ、ベースアップ支援料を行なっても何らかの形で取引先歯科医院がダンピングしたり、支援料を自らの懐に入手する形になると思います。他にも個人歯科技工所は、歯科診療保険点数が改正されチタンプレーム前装冠など技工料金が上がってもチタン鑄造機などの高額な機械を導入するのは、自滅行為になり、だからといって大きい歯科技工所の下請けで行なっている所が大半なので個人歯科技工所は、全く支援されないし潤いません。先日も歯科診療保険点数が改正され、取引先歯科技工所などに技工料を上げて頂けないか相談したが、周りの歯科技工所の料金相場が変わらないので上げられないとも言われました。
- ・個人（1人）技工所は直接取引している歯科医院が少ない。大きい歯科技工所の下請けが多く、個人歯科技工所に歯科技工所ベースアップ支援料の支援が厳しい。
- ・先生と相談できるとお思いですか
- ・相談ではなくお願いではないですか。

7-1 契約先医療機関が、歯科技工所ベースアップ支援料を算定することを希望しますか。

希望する	希望しない	その他
27	3	4



<その他記述>

- ・まだわかりません
- ・全くもってもらえないのが現状です
- ・保険業務を受けていない
- ・直接歯科技工所へ

7-2 算定を希望しない方に伺います。

その理由はなぜですか。当てはまるものすべてにチェックしてください。

<「希望しない」の回答者のみ>

医療機関に伝えるのが難しい	契約書のやり取りが煩雑	従業員の賃上げが難しい	その他
1	1	1	2

<その他の記述>

- ・仕事を出してもらえなくなりそうなので
- ・技工料の算定は国が行うべき

<前問「希望する」の回答者のみ>

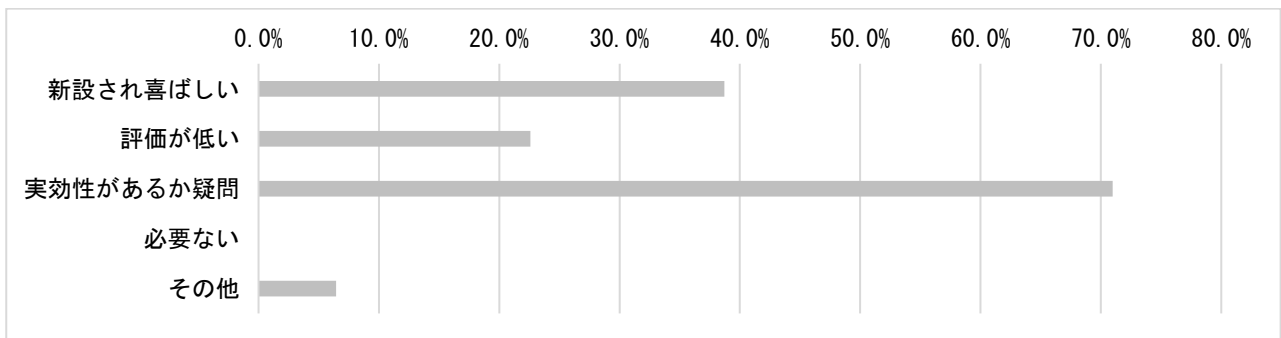
医療機関に伝えるのが難しい	契約書のやり取りが煩雑	従業員の賃上げが難しい	値上げの必要がない	診療報酬の内容がわからない	その他
3	1	1	0	2	2

<その他の記述>

- ・ベースアップ支援料は出来れば大変助かります。しかし役員など現場と歯科医師と技工士の立場をまったくわかっていない。もう30年以上きれい事ばかりであきれます。
- ・直接歯科技工所へでなければ意味なし！

8. 歯科技工所ベースアップ支援料をどのように評価していますか。(複数回答)

新設され喜ばしい	評価が低い	実効性があるか疑問	必要ない	その他
11	6	21	0	2



＜その他の記述＞

- ・「全額を歯科技工所に還元する」とされる歯医者もなさけない
- ・出来れば非常にありがたいです。この事を歯科医院に話して仕事がなくなる可能性が大です。生活できなくなる。
- ・とにかく歯科医院を通さず直接歯科技工所へ

9. 歯科技工所ベースアップ支援料についてご意見があればご記入ください。

- ・1人で行っている歯科技工所に支援が厳しいと思う。30年前からずっと歯科医院、歯科技工所の間、大きい歯科技工所(多数)と1人で行っている個人歯科技工所の間で未だにダンピングしているので、技工料自体上がってない！個人歯科技工所まで支援が行き届くのか？
(50代・10～19年・個人・1人)
- ・まだまだ厳しいので更にベースアップ支援料が上がることを期待しています。
(50代・20～29年・個人・1人)
- ・まだ良く理解できていない。歯科医師に伝え方がわからない。技工代金請求時にベースアップ支援料を加算して請求することが出来る様にしてほしい。(80代以上・40年以上・個人・2人)
- ・技工士自体で保険請求する用にしないと、いつまでも低賃金で人は増えない。
(60代・20～29年・個人・2人)
- ・技工制作物そのものの料金が診療報酬に位置付けられていない(現場に)所です。歯科業全体のベースアップがなければ出来ない。歯科医師の理解が有るのか疑問。(80代以上・40年以上・個人・1人)
- ・契約先医療機関が申請してくれるか不安です。(50代・30～39年・個人・2人)
- ・個人～5人位のラボはとても現状がきびしいでしょう。技工士の人数も少なく、大手のラボはさらに力をつけて、かなり苦しいですね。(50代・20～29年・法人・6人)
- ・支援料が新設されても実際に技工所に算定通りに還元されるか疑問。チェック機関を設置すべきだと思います。(60代・30～39年・個人・1人)
- ・歯科医院を経由せずに技工所に直接保険点数を支払えばいい。歯科医院からその点数を全額還元して、歯科技工士にのみに全額渡せと言われても技工所的にはメリットがない。増えた保険料税金の負担は技工所なので技工所に還元してほしい。20年遅い。(50代・40年以上・法人・5人)
- ・歯科医院側から(算定するので言って下さい)等言って頂けると気持ちが楽になる。制度上仕方が無いですが、医院側に事務的な負担を強いる事になってしまう。(60代・30～39年・個人・3人)
- ・歯科技工所に本当に支援料が入金されるのか？不安な所があります。(70代・20～29年・法人・2人)
- ・従業員の賃上げに対して有効な原資となることはとてもありがたいが、医療機関がどれだけ協力してくれるかという不安はある。(70代・40年以上・法人・88人)
- ・診療報酬保険点数に歯科技工所ベースアップ支援料を作っても、歯科医院に請求と報酬を受ける権利がある限り歯科技工所の利益につながるか疑問が残ります。歯科技工所の為に設けた施策なら歯科技工所へ直接、報酬が受けられるシステムを構築して欲しい。今までも色々診療報酬に歯科技工所支援へつながるものが作られていますが、何の実効性も無い事は明白です。診療報酬の項目を増やす以外の施策を思案の程、よろしく願います。(60代・6～9年・個人・2人)
- ・正直言わせていただきます。親に言われてこの業界に入りましたが、30年以上になり、役員など上

の人は色々やっていただきましたが、なにも30年以上料金は変わらず。現場の立場にならず、けっきょく食べられず、友人は9割が技工士をやめました。今でも歯科医師と技工士では、このようなベースアップの話などしたら現場では生活できなくなる技工士が出て、やめる人も確実にでます。自分もその一人です。今でも親をうらんでいます。(50代・5年以下・個人・1人)

・先に述べた様に1人でこなしている個人歯科技工所などには、とても厳しいものです。直接取引している歯科医院にも賛否があり、行なったとしても何らかの形で医療法人などの歯科医院は、自らの懐に入手したりする抜け道なども考えられる。大きい歯科技工所から下請けで行なっている個人歯科技工所などには中々、歯科技工所ベースアップ支援料を手にする事は、叶わないと感じました。結局のところ、1人でこなしている歯科技工所には、歯科技工所ベースアップ支援料が行き届かずに改善が厳しいものです。(50代・10~19年・個人・1人)

・大昔のように歯医者全てが技工士をすれば「定収入、経営難、離職」もなくなり、技工料のピンハネでベントに乗る罪悪感からも歯医者自身がぬけだせるのではないのでしょうか。

(70代・30~39年・個人・1人)

・直接技工所に振り込みがなければ無理ではないですか。歯科医院も大変なのに技工所に支援料渡すと思いますか？(60代・30~39年・個人・2人)

・直接申請するのは難しいのか。(70代・40年以上・個人・1人)

・特にありません。(60代・20~29年・法人・9人)

・内容を把握できていない。もっと早い時期からこの情報を詳しく知りたかった。日々、目の前の仕事をこなし納期までに納める事が精一杯で、新しい情報などをなかなか掴めない。歯科医院とどのように交渉していいか、わからない。確実に歯科技工所のベースアップに繋がって欲しい。

(60代・30~39年・個人・2人)

・歯科医がもうかるだけ！直接歯科技工所へ！(60代・30~39年・個人・2人)

・開設者を出していない歯科技工士は<ベースアップ支援料>など知り得ないので、広く歯科業界に知らしめて頂き、実効性のあるものにして頂きたく存じます。(60代・20~29年・個人・1人)